阿智村事務事業評価シート

事務事業名	敬老祝い事業	担当者	民生課　　福祉係

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	2. だれもが健康で、心安らぐ村／福祉・健康・医療充実／高齢者福祉		
関連する主な計画等			
根拠法	阿智村敬老祝金贈呈事業		
実施方法	☑ 直接実施　☐ 業務委託　☐ 補助金交付　☐ 負担金　☐ その他		
事業の対象者	該当年度に88歳以上になる村民		
事業開始年	☑ 時期不明	事業の終期	☑ 終期未定

②事務事業の計画（PLAN）、取組（DO）

実施目的	長年にわたり地域に尽くしてきた高齢者の長寿を祝うとともに、在宅介護の高齢者とその介護者の慰労をする。あわせて、村内の経済の活性化の一助とする。
具体的取組	敬老祝い　　敬老祝い券：88歳～99歳　5，000円、100歳～　10，000円の交付　見舞い品贈呈 介護者見舞い　75歳以上在宅介護者　見舞い品贈呈 88歳と100歳以上は村長自宅へ訪問、それ以外は民生委員を通じて配布
実績・効果	該当者宅への村長の訪問は喜ばれている。祝い券の利用率も高く地元の経済効果の一助になっていると思われる。 該当者　351名（88歳～337名 100歳～14名） 支給総額　1，825，000円 換金額　1，783，000円 換金率　97．6% 登録事業者数　171カ所 換金状況　食料品店　870千円　48．8% 衣料・日用品　769千円　43．1% 飲食店等　30千円　1．7% サービス・その他　114千円　6．4%

歳出の内訳（千円）	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	消耗品	10				
	見舞い品等	224				
	券印刷代	86				
	扶助費	1,783				

事業コスト	区分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額（千円）		1,599	2,046	2,103	2,387	2,387
		うち一般財源	1,599	2,046	2,103	2,387	2,387
		うち補助金					
		うち個人負担					
	従事職員（人）	正規職員					
		臨時職員					

③評価（CHECK）

区分		個別判定	判定理由	総合判定
必要性	住民のニーズは高いか	a	認知されてきているので村民の期待はある	A
	手段、成果は妥当か	a	該当者は喜ばれる。地元への経済効果はある	
	対象者の設定は妥当か	a	平均寿命から考慮しても妥当と思われる。	
	村の関与は妥当か	a	移管する事業ではない	
有効性	期待された効果が得られたか	換金率が高く、有効と思われる。		A
効率性	コストの削減に努めたか	a	削減の余地はない	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	利用期間を延長。	
公平性	受益者負担は適切か	対象は年齢要件のみであり、公平。		A
総合評価	B			

④改善（ACTION）

事業の方向性	**継続・維持**
課題	75歳以上88歳未満の在宅介護者への見舞いは家庭介護者休養支援事業と重複する。
今後の取り組み	在宅介護者見舞いは廃止。